

# 株式会社 三国東洋

## DX宣言書

2025年4月11日  
株式会社 三国東洋  
代表取締役 木我 謙一

### □ 経営理念

不断の努力と革新によって卓越したモノづくりを提供する

- ・卓越したQCD(Quality Cost Delivery)の実現
- ・顧客や従業員が魅力を感じる工場・職場の構築
- ・地域社会への貢献

### □ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し、業務の効率化と標準化を進めることで従業員が本来の業務に集中できる環境を実現します
- ◆ DXを基盤とした強固な経営体制を築くとともに事業領域の拡大へ挑み、持続的に成長する企業を目指します

### □ DX戦略・施策

推進テーマ：①生産性向上/業務効率化 ②見積価格の適正化 ③製品ごとの収益性の把握 ④DXの定着

#### ➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年9月)

戦略 「デジタル利活用に向けた現状把握とDX基盤の整備」

施策 ① 手作業や属人化している業務を洗い出し、取り組みの優先順位を設定

② 現在の見積作成プロセスを分析し、問題点および課題を特定

③ 顧客・製品ごとの収益性を把握するために必要な数値の洗い出しと取得方法を検討

④ DX推進の理解を深めるため、他社のデジタル活用事例紹介を含めたDX推進方針の説明会を実施

#### ➤ フェーズ2(2025年10月 ～ 2027年3月)

戦略 「生産性向上と価格決定の最適化」

施策 ① フェーズ1で決定した優先順位に基づき、改善策を検討・実行

② 見積価格決定のため、統一基準と見積作成業務の標準フローを策定

③ 収益性の把握に必要なデータを収集・集計できる仕組みを構築

④ ITリテラシーに関する社内教育体系を整備

#### ➤ フェーズ3(2027年4月 ～ 2028年3月)

戦略 「データドリブン経営の確立」

施策 ① 業務の属人化を解消するために手順の標準化、オートメーション化を実現

② 必要に応じて見積作成用のテンプレート作成およびITツール導入を検討

③ データに基づく経営判断を可能にするため、顧客・製品ごとの収益性を見える化

④ 社内にDXを定着させるため、教育資料の作成と教育の実施を推進

### □ DX推進体制

- ・代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・人時売上高 : 2024年度比 15%UP(～2027年度)